

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	インテンシブ・イングリッシュ ユ (1年)
科目基礎情報					
科目番号	0005		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義・演習・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気電子創造工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材					
担当教員	鈴木 真ノ介,田中 昭雄				
到達目標					
1. 専門基礎に関する簡単な説明を, 英語で表現できる. 2. 専門基礎に関する簡単な英語で表記された問題を, 解くことができる.					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	専門基礎に関する簡単な説明を , 英語での確に表現できる.		専門基礎に関する簡単な説明を , 英語でほぼ表現できる.		専門基礎に関する簡単な説明を , 英語でまったく, あるいは, ほ とんど表現できない.
評価項目2	専門基礎に関する簡単な英語で表 記された問題を, 的確に解くこと ができる.		専門基礎に関する簡単な英語で表 記された問題を, ほぼ解くことが できる.		専門基礎に関する簡単な英語で表 記された問題を, まったく, ある いは, ほとんど解くことができな い.
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 ⑥					
教育方法等					
概要	専門基礎に関する授業を簡単な英語で表現したり, 簡単な英語で表記された問題の解き方を学ぶことで, 専門科目にお ける英語の実用スキルを身に付ける.				
授業の進め方・方法	平行して行われる専門基礎科目の内容を, 簡単な英語に置き換えて, 主に演習形式により実施する.				
注意点	週1回50分の通年科目である. 予習よりも授業内容を復習することを強く進める. 必要な持ち物がある場合は, HR に掲示をするので, 見落とさないこと. 問い合わせ先は, 電気電子創造工学科 鈴木まで.				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	電子と電流, 電位と電圧, 起電力	電子と電流, 電位と電圧, 起電力に関する英語表記・ 問題を理解できる.	
		2週	交流と直流・オームの法則	交流と直流・オームの法則に関する英語表記・問題を 理解できる.	
		3週	直列回路と並列回路	直列回路と並列回路に関する英語表記・問題を理解で きる.	
		4週	直並列回路	直並列回路に関する英語表記・問題を理解できる.	
		5週	ブリッジ回路	ブリッジ回路に関する英語表記・問題を理解できる.	
		6週	キルヒホッフの法則 (1)	キルヒホッフの法則 (基礎) に関する英語表記・問題 を理解できる.	
		7週	キルヒホッフの法則 (2)	キルヒホッフの法則 (応用) に関する英語表記・問題 を理解できる.	
		8週	総合演習 1	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問 題を理解できる.	
	2ndQ	9週	総合演習 2	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問 題を理解できる.	
		10週	重ね合わせの理	重ね合わせの理に関する英語表記・問題を理解でき る.	
		11週	テブナンの定理	テブナンの定理に関する英語表記・問題を理解でき る.	
		12週	抵抗の性質・ジュールの法則	抵抗の性質・ジュールの法則に関する英語表記・問題 を理解できる.	
		13週	電力と電力量	電力と電力量に関する英語表記・問題を理解できる.	
		14週	ファラデーの法則	ファラデーの法則に関する英語表記・問題を理解でき る.	
		15週	総合演習 3	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問 題を理解できる.	
		16週			
後期	3rdQ	1週	磁気現象	磁気現象に関する英語表記・問題を理解できる.	
		2週	磁気回路	磁気回路に関する英語表記・問題を理解できる.	
		3週	電磁誘導	電磁誘導に関する英語表記・問題を理解できる.	
		4週	渦電流とインダクタンス 1	渦電流とインダクタンス 1 に関する英語表記・問題 を理解できる.	
		5週	インダクタンス 2	インダクタンス 2 に関する英語表記・問題を理解でき る.	
		6週	電磁力	電磁力に関する英語表記・問題を理解できる.	
		7週	電動機の基礎	電動機の基礎に関する英語表記・問題を理解できる.	

4thQ	8週	総合演習 4	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問題を理解できる。
	9週	総合演習 5	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問題を理解できる。
	10週	静電力・静電誘導・静電遮蔽	静電力・静電誘導・静電遮蔽に関する英語表記・問題を理解できる。
	11週	電界・電位・電束密度	電界・電位・電束密度に関する英語表記・問題を理解できる。
	12週	コンデンサの静電容量	コンデンサの静電容量に関する英語表記・問題を理解できる。
	13週	コンデンサの接続・合成容量	コンデンサの接続・合成容量に関する英語表記・問題を理解できる。
	14週	コンデンサのエネルギー	コンデンサのエネルギーに関する英語表記・問題を理解できる。
	15週	総合演習 6	これまでの総合的な内容の演習に関する英語表記・問題を理解できる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0